

## 船木校区まちづくり集会 開催結果報告書

開催日時	平成24年7月6日(金)	19時～20時30分
場 所	船木公民館 2階 会議室	
参加者数	男 71人	女 14人 合計 85人



### 1 校区設定市政課題

課題名 ( 自治会加入促進の問題点 )

討議内容 (要約)

○質 問 (船木連合自治会：星加会長)

船木校区の自治会加入状況につき、パワーポイントを使って説明する。

船木校区の自治会加入率 (市への報告として市政日より配布部数をカウント) と実際の加入率 (自治会費徴収世帯)、また単位自治会ごとの自治会加入率を、直近5年間の推移をグラフで説明する。

さらに主な自治会活動内容として、防犯灯の設置、管理またごみステーションの清掃等、船木校区の代表的なものを写真を使って紹介した。

また、アンケートに基づき自治会加入促進を妨げる理由として、

- (1) 自治会加入のメリットがない
- (2) 自治会役員になると気苦労が多い
- (3) 隣近所との付き合いが煩わしい
- (4) 高齢化に伴い自治会のお世話ができない
- (5) 会費や寄付の出費がかさむ

- (6) 太鼓台の運行に伴うかき夫の応援や太鼓割が負担である
- (7) アパートやマンションの住民は加入しない 等々があげられる。

○各自治会での加入促進の事例や提案を伺いたい。(船木連合自治会：星加会長)

○事例報告①(七宝台自治会：高橋会長)

七宝台自治会は、現在390世帯ありますが、自治会に加入しているのは301世帯です。このうち、65歳未満の世帯は、91世帯と3割ほどで高齢化が進んでいる状態です。当自治会でも、役員になりたくないことや高齢化を理由として自治会に加入しないことが多く見られます。役員交代時期になると、部長はやるが、会長、副会長となると受け手がおらず、平成19年度からは3地区それぞれの地区の区長の中から輪番制にしたことがある。それでも、翌年に区長が回ってくる世帯の中には高齢や体調を理由に自治会を脱退したいという話もあり、区割り変更も検討しているとのことである。高齢化の問題もあり、これといった対策はないが、何か良い方法があれば是非教えてください。

○事例報告②(みどりヶ丘自治会：小橋会長)

みどりヶ丘自治会でも、特に会長の受け手がおらず、過去4地区の輪番制にしたこともあるが、5年目で崩壊してしまった。任期が特に決まっていないということで、私はのべ7年間、会長職にあります。自治会加入を新規に依頼するときが一番困ることが、加入のメリットが言えないということです。また、役員をお願いすると自治会をやめてもよいということです。新居浜市が、昨年「自治会長さんのための便利帳」を作成し、この中には大変役に立つことも掲載されていますが、自治会加入促進のためのQ&Aがありませんでした。自治会加入に際してのメリット、デメリット等を記載したものを、是非作成していただきたいと思います。市にこのような資料があれば、是非いただきたいと思います。

○(船木連合自治会：星加会長)

自治会加入の具体的なメリットは少ないが、保険のようなものではないかと答えています。高齢になったとき、病気になったとき、災害のときに隣近所で支え合うという精神ではないかと思います。連合自治会としても、お答えできるよう掘り下げて勉強したいと思います。

○質 問(船木連合自治会：星加会長)

松山市や今治市では、愛媛県自治連合会に加入しておらず、また住民組織も新居浜市と異なるものと聞いています。新居浜市では、自治会が、地域住民の日常生活において大変大きな役割を果たしていますが、松山市や今治市では、広報やごみ処理、防犯灯の維持管理等、地域住民の生活をどのように維持しているのかをお聞かせください。

○回答者（市長）

松山市と今治市の自治会組織についてですが、両市に確認をしたところ、それぞれ単位自治会や町内会が存在し、市との協働により地域の諸問題に取り組んでいます。

まず、松山市ですが、新居浜市のような連合自治会という組織が存在しません。ごみステーションの設置及び管理、防犯灯の維持管理につきましては、自治会で行っていますが、校区毎の広報委員会ということで、新居浜市より都市型ということが言えます。広報誌の配布は民間業者に委託してポスティングによる全世帯配布をしております。回覧板は自治会や町内会から推薦された広報委員に依頼しているようです。高齢者の見守りは、民生委員が中心で自治会はあまり係わっていないようです。

次に今治市ですが、加入率が80%と高いのは、周辺島しょ部などを含めた加入率が高いと想像します。組織は新居浜市の方式と類似しており、自治会に放送塔はございませんが、広報誌の配布依頼や回覧依頼をしており、ごみステーションの設置及び管理、防犯灯の維持管理も行っております。高齢者の見守りは、今治市も自治会はあまり係わっていないようです。

新居浜市は今治市ほど加入率は高くないが、全体的な地域との係わりは強く有難いことだと思っています。

また、自治会加入にあたってのQ&Aですが、今のところ作成されておられません。自治会加入をしなければ回覧板が回らないとか、いざというときに困るとかマイナスの話が出がちになってきます。自治会への加入を勧めるにあたってのひとつの方法ですが、入会したらこんないいことがあったとか、友達が出来たとか、助けてもらったとかの実体験を話すのが効果的であり、今後このようないいイメージの話を集める努力をしなければならぬと考えています。また各地域には勧め上手の方がいると思いますが、そういった方の力を借りるとか、加入促進部会等による活動をしているということも聞いています。このような積み重ねではないかと思えます。

○質 問（司会：石川副会長）

自治会加入のQ&Aは、作成していただけるのですか。

○回答者（市長）

自治会加入のQ&Aは、今後、作成していきたいと考えています。

○質 問（七宝台自治会：可児さん）

自治会の加入促進について、市としては現状をどのように考えているのですか。

○回答者（市長）

自治会加入率の低下は、地域コミュニティの低下を招き、大変危惧しています。現在、

全市的な加入率を見てもおよそ7割程度であることから、市といたしましても加入促進に向けて、Q&Aを作成したり、さらなる広報活動をしてまいりたいと考えております。

○再質問（七宝台自治会：可児さん）

自治会加入促進について、小委員会を立ち上げ、そこで協議をしてはと思いますが、どうでしょうか。

○回答者（船木連合自治会：星加会長）

市の連合自治会でも、既に加入促進のための小委員会を設けています。マルナカでチラシを配布したり、市政だより3月号で自治会加入を呼び掛けたりと広報している。しかし、成果がなかなか上がりません。各自治会でも何とか頑張ってもらいたいし、問題点があれば、連合自治会でもバックアップしたいと考えています。

※ 再検討事項

自治会加入促進用Q&Aの作成

## 2 地域課題

課題名（池田池駐車場付近の橋の拡張について）

質疑応答（要約）

○質問（上池田自治会：藤田会長）

池田池公園の西側駐車場入口に幅3mの小さな橋がかかっていますが、菖蒲まつり、マンドリンコンサート、駅伝マラソン大会、太鼓祭り夜太鼓等の池田池のイベント時には、この橋付近が車や人で大変混雑し危険です。地区の要望として、橋の幅を今の倍くらいに拡張してほしいと思います。

○回答者（市長）

池田池は年間通じて環境のいいところの評価をいただいているし、地元の方には日常の維持管理ご協力を感謝しています。

イベント時には、多数の方が利用されることから、その対策として、

- ①それぞれの駐車場の出入り口は十分な幅員があることから、橋の車両通行を西から東への一方通行に規制する
- ②イベント時の利用状況に応じて、南側の広場を臨時駐車場とする
- ③イベント主催者にその旨周知を行い、立て看板を設置してもらう等の方法で、まずは、対応していきたいと考えておりますので、ご協力、ご理解をよろしくお願いします。

※ 再検討事項

なし

課題名（ デマンドタクシーの運行内容について ）

質疑応答（要約）

○質問（元船木団地：村上さん）

平成23年1月からデマンドタクシーの試行運転が開始されましたが、元船木団地の高齢者はあまり利用していません。その理由として、青洲病院に通院している高齢者の場合、車で送迎してくれるので、3～4人のグループで利用して、帰りは船木のM2まで送ってもらい買い物をした後タクシーを呼んでいる。このように便宜を図っていただければ、デマンドタクシーを利用できるのですが、こうした要望をふまえて、現在の運行状況と利用促進のための考えについてお聞かせください。

○回答者（市長）

現在試験運行中のデマンドタクシーは、乗り合いタクシーを制度化して、一般のタクシーより安価で、上部地区の東エリア、つまり西は東城、北は予讃線までの間を移動できる新しい公共機関です。しかし、登録制、予約制、乗合制、行き先にも制約があります。

これまで、時刻表や予約閉め切り時間の変更を行い、できる限りの利用促進を図ってきました。利用料金も大人500円、小人250円、また障がい者（介護者1人を含む）であったり、運転免許証を自主返納された方などは半額となります。そのため、1人で利用する場合、エリア内は500円定額であるため大変便利ですが、3～4人のグループで利用される時には、一般のタクシーを利用された方が安価となる場合がありますので、そういった時には使い分けをしていただければと考えております。

なお、現在の船木校区のデマンドタクシーの利用状況ですが、登録者数は6月末現在で278人です。昨年の3月末は171人でしたので、約100人増加しています。利用者数は、昨年の10月から3月までの半年間で569人、1日当たり約4.7の方が利用しています。それ以前は、1日約1.9人であったため、約2.5倍の増加になっています。当初想定した年齢の方に利用してもらっています。

また、上部東エリア内での通常の利用以外に、具体的にどのような利用がされているか、例を申し上げますと、上部東エリア外の県立病院に行くため、上部支所までデマンドタクシーを利用し、その後は一般のタクシーに乗り継がれる方がいらっしゃいます。この方は、デマンドタクシーの運転手に相談されて、実際には上部支所で降りられずに、支所からは一般のタクシーとして乗せてもらう場合もあるようです。料金も一般のタクシーを利用した場合の3分の2程度に抑えられているそうです。また、ある方は、最初にご自宅から上部東エリアの病院まで行かれ、1時間後にその病院からマルナカまで行かれて買い物をし、

また1時間後にマルナカからご自宅まで利用されています。事前に3回とも予約を入れてもらっていますが、予定さえ立てることができれば、このような使い方もできます。具体的なアドバイスもいたしますし、出前講座でも説明をしたいと思います。

現在、試験運行中でのエリア拡張はまだ考えていません。試験運転は来年の9月までを予定していますが、その後本格的運行として継続するかどうか、今年度中、来年の3月までに決定し、来年度の予算の中でどう対応するかということの検討になります。多くの方にご登録、ご利用していただくことが前提となり、全体の経費とその利用者の数の評価というものが出てくると思うので、よろしくお願いします。

※ 再検討事項

なし

課題名（ 客谷川上流の浚渫工事について ）

質疑応答（要約）

○質問（船木公民館：徳田館長）

客谷川は昨年9月の台風で、上流の土石流が流れ込み川底が上がってしまいました。県の5月の浚渫工事で、えひめ学園より下流はきれいになりましたが、それよりも上流は依然当時のままで台風や大雨がくれば、下流はまた土石流で埋め尽くされる恐れがあります。

そこで、客谷川上流の浚渫工事計画があれば教えてください。

○回答者（市長）

客谷川は現地視察をしましたし、平成16年の記憶や九州の集中豪雨をみると、これで大丈夫だとは言えませんが、えひめ学園の建て替えや砂防工事も入っているので、全体的には強くなってきていると思います。

平成23年度に県と市で、高速道路橋梁部の下流側までの土砂撤去を完了しました。一方、上流側については、現時点では土砂撤去の予定までは決まっていません。

なお、土砂撤去については、愛媛県管理河川全体の中で、堆積状況の調査を踏まえ、緊急性の高い個所から順次行っていくというのが愛媛県のお答えです。市としても、引き続き県管理河川の土砂撤去について、全体的な予算の確保を要望していきたいと思っています。

※ 再検討事項

なし

### 3 その他

○質問（長野自治会：神野さん）

平成6年に長野で大火事が発生し、多数の消防車が来たのであるが、その年は少雨のため用水路に水がなく、全焼してしまった。現在、船木には防火用水がほとんどないことから、防火用水の見直しをしていただきたい。そうすれば、災害時における水不足の際にも、生活用水として使用することができるため、ぜひ防火用水を造ってほしい。

また、最近産廃業者が船木に進出し営業を行っている。東日本大震災の汚染物質の県外受け入れの話がでていたが、たとえ被災された地域からの受け入れを拒否したとしても、他府県を通して、スクラップや破砕が入ってきていると聞いている。新居浜市に放射能測定器があるのであれば、安全なまちづくりを進める上でも、定期的な測定をお願いしたい。

○回答者（市長）

防火用水については、消防署や消防団で点検を行うほか、水利の状況についても把握しているので、現状を確認したいと考えています。

震災がれきについては、焼却用がれきを新居浜市で受け入れることはありません。また、放射能測定器でのモニタリングについては、定点を決めて測定することにはなっていません。何か問題があればそのような対応も必要でしょうが、これからの課題としてとらえたいと思います。

※ 再検討事項

船木地区における防火用水、消防水利の現状についての確認